

Hello! FUJISEI

No. 131

金融広報中央委員会の「2012年家計の金融行動に関する世論調査」（二人以上世帯調査）によると、金融資産の保有額の平均値は1,108万円となっていますが、「うちとはとてもそんなには…」と言われる方が多いのではないのでしょうか。それでは、450万円ではどうでしょうか？くそれくらいなら…」と、少し納得できる方も多いのではないのでしょうか。

この450万円は、中央値です。右の例では、金融資産保有額の平均値は1,000万円となりますが、金融資産保有額が1,000万円を超えているのは2世帯なので、ほかの7世帯は「自分はそんなに多くの金融資産を持っていない」と感じます。平均値

保有金融資産は平均1,108万円？

うちにはそんなに金融資産はない…

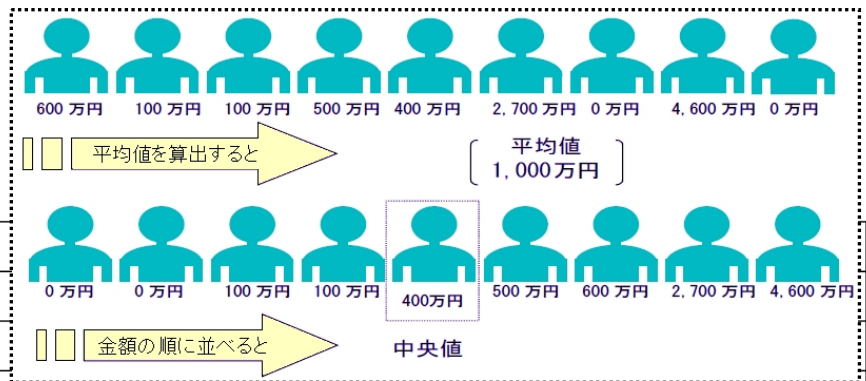
は少数の高額資産保有世帯によって大きく引き上げられることがあるため、平均値でみると多くの世帯が実感とかげ離れた印象を持ちます。

金融資産保有額の平均値は1,108万円ですが、保有世帯（金額無回答を除く）が2,627世帯、非保有世帯（保有額=0万円とみなす）が1,021世帯であり、全世帯（金額無回答を除く）のうち7割弱が平均値よりも保有額が少ないのです。

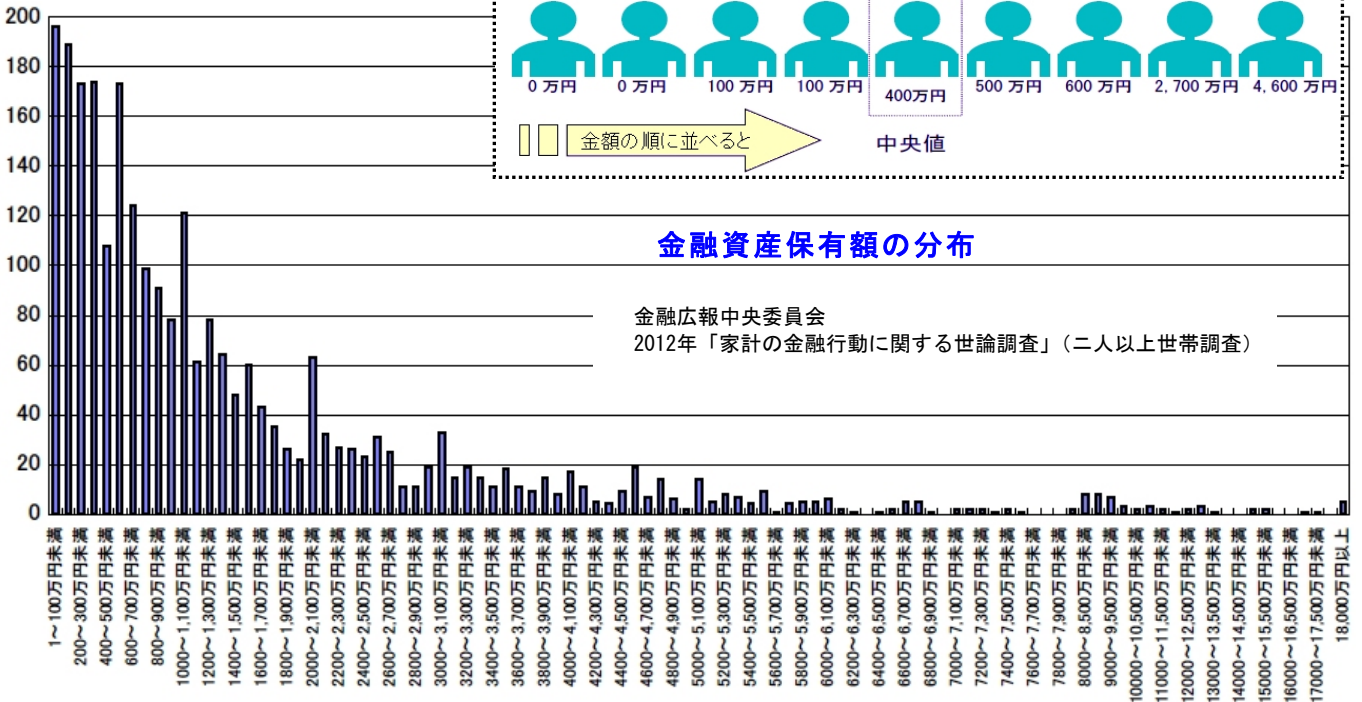
このような平均値の持つ欠点を補

うために、平均値と並んで中央値が用いられます。この中央値とは、調査対象世帯を保有額の順に並べたとき、中位（真ん中）に位置する世帯の金融資産保有額をいいます。例えば、自分の金融資産保有額が中央値（例では400万円）である世帯から見ると、自分の金融資産保有額より多い世帯も少ない世帯もちょうど半分ずつとなります。したがって、中央値は世帯全体の実感により近い数字になると考えられるのです。

平均値と中央値



金融資産保有額の分布



金融広報中央委員会
2012年「家計の金融行動に関する世論調査」（二人以上世帯調査）